



「四万十よんでんの森」ふれあい活動に参加した皆さん

## 児童が「よんでんの森」で森林保全活動

北ノ川小学校3・4年生の児童を対象に、令和7年11月20日、瀬里地区で森林の大切さを学ぶ体験授業が行われました。

県や町と協定を締結している四国電力株式会社が、児童を招いて行う「四万十よんでんの森」ふれあい活動の一環です。

児童たちは、雑木の伐採や植樹作業を町職員や四国電力の方から教わりながら、普段できない体験に終始目を輝かせ楽しそうに取り組んでいました。

植樹したモミジの木には、児童が描いたプレートが取り付けられ、「きれいに大きく育ってほしい」と願いが込められました。



4部1位【岩崎・渡辺ペア】(右)と2位【羽屋戸・松井ペア】(左)

## 白熱ラリー！町内バドミントン大会

「四万十町バドミントン大会」が令和7年11月2日、窪川B&G海洋センターで開催されました。

町内からは8名(5ペア)が出場し、4つの部に分かれて行われた試合では、選手たちが白熱したラリーで会場を盛り上げていました。町内チームの結果は以下のとおりです。

### 【町内チームの大会結果】

1部	3位	川村・川村ペア(窪川蒲公英)	4部	3位	松本・碓井ペア(チームしまんと)
4部	1位	岩崎・渡辺ペア(チームしまんと)	4部	4位	中越・中平ペア(窪川高校バドミントン部)
4部	2位	羽屋戸・松井ペア(窪川高校バドミントン部)			

## 四万十ポークの肉質、4部門で評価！

「第24回高知県豚枝肉共進会」が令和7年11月20日から22日の間、四万十市で開催されました。肉豚の肥育技術の確立と枝肉の肉質向上を目的に毎年開催しており、県内から110頭の出品がありました。

「雌の部」では農事組合法人平野協同畜産が、「雄の部」では有限会社渡辺畜産が、最優秀賞および優秀賞を受賞しました。

また、グランドチャンピオンには平野協同畜産が選出され、見事農林水産大臣賞を受賞しました。全6部門中、4部門を町内養豚農家が受賞し「四万十ポーク」の肉質の良さを証明しました。



平野協同畜産の皆さん(左)と渡辺隆造さん(右)



喜びのトロフィーを持つ娘さんと最高の笑顔の堅田さん

## 快挙！町内和牛肥育農家が2冠達成

「第7回JA高知県肉牛枝肉共励会」が令和7年11月14日から17日の間、高知市で開催されました。この共励会は県内の和牛肥育農家の技術確立と枝肉の肉質向上を目的に開催しているもので、今回は県内から全28頭が出品されました。

その内、「黒毛和種」と「褐毛和種」の2部門で、堅田雅仁さん(与津地)が最高賞である高知県知事賞を受賞しました。

堅田さんは「20年近く続けてきて、2部門受賞は初めての経験です。大変やりがいを感じています」と笑顔で喜びを語ってくれました。



夜空の下、沈下橋を彩る2,500個のやさしい光

## 幻想的！若井沈下橋キャンドルナイト

若井沈下橋と周辺の河原をLEDキャンドルでライトアップするイベントが、令和7年11月22日に開催されました。高知大学の学生団体、四万十かっぱ組が主催したもので「四万十銀河～川のあまのがわ～」と題し、初めて行われたものです。

会場には、海洋堂かっぱ館の木彫りの河童が怪しげにともされるなど、神秘的な空間が広がっていました。

町内外から多くの見物客が訪れ、普段見られない四万十川の光景に魅了されました。学生たちにとっても達成感を噛み締めたイベントとなったようです。



丹精込めて育てられた農林水産物の展示

## 活気あふれる「西部地区産業祭」

「第17回西部地区産業祭」が令和7年11月23日、旧昭和小学校で開催されました。当日は天候にも恵まれ、餅投げのほか、多数の飲食ブースの出店、林業機械の実演や体験会なども行われ、多くの人にぎわいました。

今年も58点の出品があった農林水産物等品評会では、芝岩雄さん(十川)のユズ、東信文さん(地吉)の生椎茸が、最優秀賞に選出されました。また恒例のジャンボカボチャコンテストには49点の出品があり、47.0kgのカボチャを出品した山部洋平さん(榎山村)が一位となりました。



防災対策の啓発に意気込む参加者の皆さん

## 震度7体験！女性防火クラブが合同研修

大正、十和地域の女性防火クラブ11名が令和7年11月15日、香川県防災センターで合同視察研修を行いました。

災害対策の知識や技術の向上を目的に定期的に実施しているもので、今回は施設内で、震度7の地震の揺れや風速30mの暴風、また映像型の消火訓練などを体験しました。参加者は、改めて家具固定などの事前対策の必要性や初期消火の重要性を学んでいました。「今後も訓練や研修を重ね、災害対策の知識や技術を身につけ、地域の防火・防災の啓発に努めていきたい」と意気込んでいました。



受賞の喜びを語ったカゴノオトの前成照さん(右)

## カゴノオト、シュトーレンが受賞

ドイツ発祥の伝統菓子シュトーレンなどを町内で製造販売する菓子店「カゴノオト」が、この度、PRTIMES社主催の「プレスリリースアワード101選」に選出、また農林水産省主催の「FOOD SHIFTセレクション2025」では優秀賞を受賞しました。

令和7年11月17日には、代表の前成照さんが町役場を訪れ、中尾町長に受賞を報告しました。今回の受賞は、前さんが生産者と密に連携し、その思いや課題に真摯に向き合い、そして素材を最大限に生かした製品づくりが評価されたものです。